

KENWOOD

マルチコントロールMD/CDレシーバー

MZ909

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

● 使いこなし!
ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

- Source Selection
- Audio Control
- Display Control
- Function Control
- Clock / Timer Control
- Disc Mode
- Tuner Mode
- Name Set / SBF

● ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

EZ Operation

Options

Remote Control

Trouble Shooting

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室 (東京) 電話(03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9
(大阪) 電話(06)6357-5335 〒534-0024 大阪市都島区東野田町1-20-5 (大阪京橋第一生命ビル)
(土、日、祝祭日および当社休日は休まさせていただきます。)
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。



この製品は、ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

Contents

Contents	2
本書の読みかた	4
安全上のご注意	6
使用上のご注意	8
CDとMDの取り扱い	10

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

EZ Operation	12
--------------	----

リモコンでも操作できるゾ!

Remote Control

Remote Control	44
Common Operation	
Tuner Operation	
Disc Operation	
Tape Operation	
TV Operation	
SNPS/DNPS+SFB Operation	
電池の交換	

困ったときのお助けページ! トラブルシューティング

Trouble Shooting

Trouble Shooting	48
------------------	----

付録

Appendices

取り付け時のご注意	54
接続	56
取り付け	59
ヒューズの交換	59
保証とアフターサービス	60
仕様一覧	61

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

Source Selection	14
ソース選択	
Audio Control	15
オーディオコントロール	
Display Control	16
ディスプレイ上段表示	
ディスプレイ下段表示	
ディスプレイ全面表示	
Function Control	17
ファンクション設定	
Clock / Timer Control	18
クロック/タイマーモード切り替え	
時刻合わせ	
ストップウォッチ	
タイマー	
アラーム	
Disc Mode	22
トラックリピートプレイ	
トラックスキップ	
トラックランダムプレイ	
トラックサーチ	
マニュアルサーチ	
タイトル/テキストスクロール	
演奏時間表示切り替え	
Tuner Mode	24
バンド切り替え	
チューニング	
オートメモリー	
マニュアルメモリー	
プリセットチューニング	
強制モノラル受信	
Name Set / SBF	26
SNPS (ステーションネームプリセット)	
DNPS (ディスクネームプリセット)	
SBF (セレクトバイファイル)	
イニシャル検索	

オプションも使いこなそう! オプションズ

Options

External Disc Control	30
ディスクサーチ	
トラックサーチ	
マニュアルサーチ	
トラックリピートプレイ	
トラックスキップ	
トラックランダムプレイ	
ディスクリピートプレイ	
ダイレクトディスクサーチ	
ディスクスキップ	
マガジンランダムプレイ	
タイトル/テキストスクロール	
演奏時間表示切り替え	
Tape Control	34
早送り/巻戻し	
DPSS (ダイレクトプログラムサーチシステム)	
ドルビーB NRシステム	
インデックススキップ	
トラックスキップ	
リピートプレイ	
プログラム	
テープセレクター	
TV Control	36
チューニング	
バンド/ビデオ切り替え	
オートメモリー	
マニュアルメモリー	
プリセットチューニング	
音声多重切り替え	
DSP Control	38
サウンドフィールドの選択	
DSPの調節	
イコライザーモードの選択	
イコライザーカーブの調節	
ポジションの選択	
ルームサイズの選択	
ユーザー設定のメモリー	
ユーザー設定の呼び出し	
DSPディフェルト	

Functional Operation

Source Selection

Audio Control

Display Control

Function Control

Clock / Timer Control

Disc Mode

Tuner Mode

Name Set / SBF

EZ Operation

Options

Remote Control

Trouble Shooting

本書の読みかた

この取扱説明書では、本機の使いかたや別売品を大きく次の3つのブロックに分けて説明しています。

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

オプションも使いこなそう! オプションズ

Options

これらのほかに、リモコンによる操作を説明した [Remote Control]、思ったとおりに動作しないときに読んでいただきたい [Trouble Shooting]、本機の取り付け方法などを説明した [Appendices] があります。

すぐに使いたいかたのために、必要最小限の機能をできるだけ簡単に説明しています。ここだけ読めば、とりあえずお使いいただけます。

すべての機能をステップバイステップで、かつ視覚的に説明しています。ここを読めば、十分に使いこなすことができます。

本機に接続できる別売品のすべての機能の使いかたを説明しています。別売品を接続しているときにお読みください。

本書でのマーク

共通の操作
ソースにかかわらず共通の操作を表しています。

ディスクの操作
MDまたはCDをプレイする操作を表しています。なお、この取扱説明書では、MDとCDをまとめて「ディスク」と呼んでいます。

チューナーの操作
FM/AM放送を受信する操作を表しています。

注意
ケガなどを防ぐための大切な注意事項を表しています。

メモ
本機の損傷を防ぐための注意事項を表しています。また、機能・使用方法の制限や使いかたのアドバイスも表しています。

短かく押す
ボタンをチョンと押すことを表します。

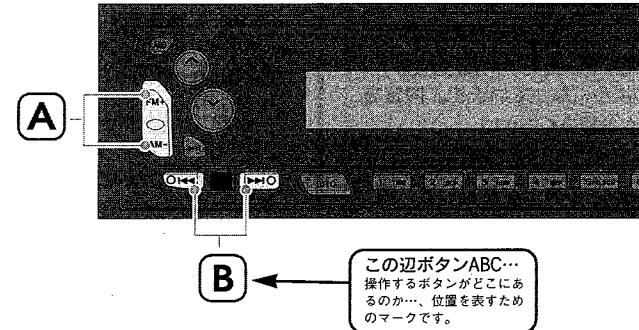


1秒以上押す
1秒以上（メモリーに書き込むときは2秒以上）押す操作を表しています。



動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表します。通常、約1秒間押します。また、メモリーに書き込むときには約2秒間押します。

Clock/Timer Control



時刻合わせ

時計を合わせます。

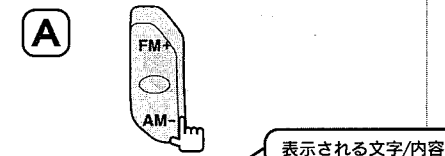
1 時計モードにします



2 時計合わせを開始します

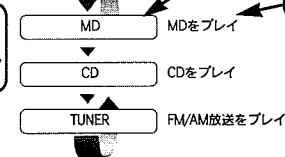


3 “時”を合わせます



Clock / Timer Control

ディスプレイ表示スクロール
ボタンを押すたびに切り替わるモードや表示を表します。



ストップ

ストップウォッチ

1 ストップ



2 計測



3 計測



- Source Selection
- Audio Control
- Display Control
- Function Control
- Clock / Timer Control
- Disc Mode
- Tuner Mode
- Name Set / SBF
- Options
- Remote Control
- Trouble Shooting

Functional Operation

EZ Operation

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



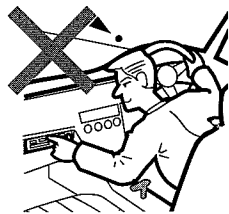
実施

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守り下さい。

警告



実施

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- 音量調節などのカーオーディオの操作



実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



禁止

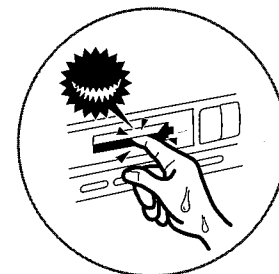
修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

注意



禁止

カセットテープ挿入口やディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。



禁止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをすおそれがあります。

使用上のご注意

本機には 下記の別売品ユニットを 接続できます

- ◆DSP/CDプレーヤー/カセットプレーヤー
 - ・DSPグラフィックイコライザーCDプレーヤー “D909” / “D707”
 - ・DSPグラフィックイコライザーカセットプレーヤー “X909” / “X707”
 - ・DSPイコライザー “P707”以上のうちいずれか1台
- ◆CDチェンジャー
 - ・10枚CDチェンジャー “C910” / “C710”
 - ・6枚CDチェンジャー “C906” / “C706”
- ◆MDチェンジャー
 - ・ミニディスクオートチェンジャー “MD56”
(別売品のBUS変換ボックス “CA-57ZX” が必要です)
- ◆TVモニター/CDプレーヤー
 - ・7inch ワイドインダッシュTV “LZ-M700”
 - ・5.8inch ワイドインダッシュTV・CDプレーヤー “VZ907”以上のうちいずれか1台
- ◆ナビゲーションシステム
 - ・マルチネットワークナビゲーションシステム “GZ-1000”

なお、MDチェンジャーとCDチェンジャーは各2台、合計4台まで接続できます。ただし、BUS変換ボックス “CA-57ZX” を使用している場合は、接続できる外部ディスクチェンジャーはCDチェンジャーとMDチェンジャーの合計で2台までになります。

取り付け時の注意

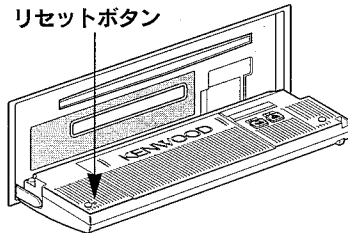
直射日光のあたる場所、熱風のあたる場所、水のかかる場所、しっかりした取り付けのできない場所、振動の多い場所には設置しないでください。

セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものでふくと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

セットの異常に お気づきのときは

万一、セットの異常にお気づきのときは、まず本機のリセットボタンをペン先などで押してください。それでも正常に戻らないときは、そのままの状態で購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へ連絡してください。



リモコンの電池について

操作できる距離が短くなったり、なかなか動作しない場合は、乾電池が消耗していることが考えられます。このような場合は、2個とも新しい乾電池と交換してください。新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用すると、液漏れなどによる故障の原因になります。

電池を充電、ショート、分解、加熱したり、火の中に入れてたりしないでください。液漏れを起こす危険があります。液漏れを起こし、目に入ったり、皮膚や衣類に付着したときは、すぐに水で洗い流し、すぐに医師に相談してください。また、電池は子供の手の届かないところに置き、万一飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではMDやCDの読み取りができなくなります。

このようなときは、MDやCDを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へ連絡してください。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてMDやCDの演奏ができなくなります。このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

使用できないCD

記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどのノリがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけるとCDが取り出せなくなったり、故障することがあります。



特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。



記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

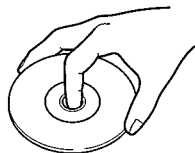
CDマークの付いているCD以外は使用しないでください。

レーベル面にシールの貼ってあるCDを使用すると、CDが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるCDは使用しないでください。

CDとMDの取り扱い

CDの取り扱いについて

CDの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。取り扱いは記録面に触れないようにします。(レーベルが印刷されていない面が記録面です。)



CDの保存

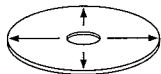
直射日光が当たる場所(シートやダッシュボードの上)など、温度が高い場所には置かないでください。

●
長期間演奏しないときは、本機からCDを取り出して、ケースに入れて保管してください。キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

CDのお手入れ

CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。

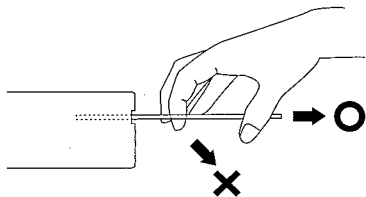
従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



CDの取り出し方

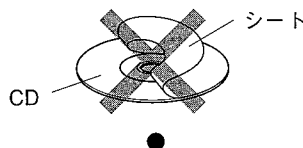
本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出してください。

下側に強く押しながらかき出すとCDの記録面に傷を付ける原因となります。

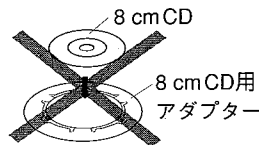


CD用アクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー(スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど)は故障の原因となりますので使用しないでください。

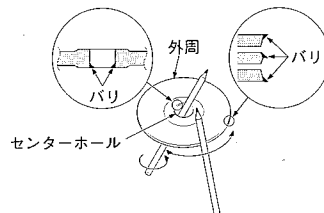


●
市販の8cmCD用のアダプターも使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。本機で8cmCDを使用する際にアダプターは必要ありません。また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売の8cmCD用マガジンをご使用ください。



新しいCDを使うときは

新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや外周部に"バリ"がないことを確認してください。"バリ"が見ついたらそのまま使用すると、CDが挿入できなかったり音飛びの原因になります。"バリ"があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。

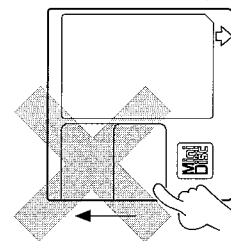


MDのお手入れ

カートリッジ表面の汚れや、ゴミは乾いた布でふき取ってから使用してください。特に油污れが付いた状態で使用すると、ディスクがローディングされなかったり、取り出せなくなることがあります。また、お手入れされるときは、シャッターを開かないようご注意ください。

MDのシャッターについて

MDのシャッターは開けられないようになっています。無理に開けるとカートリッジが破損して使用できなくなります。シャッターが何らかの原因で開いてしまったときには、記録部分を指で触らないようにしてください。記録部分に触れると使用できなくなったり、音飛びを頻繁に起こすようになります。

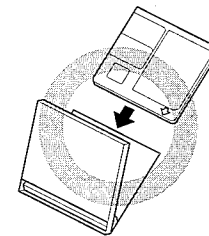


ラベルのはがれかかったMDは

ラベルのはがれかかったMDは使用しないでください。ラベルが浮いていたり、はがれかかっているMDを使用すると、本機の中ではがれて取り出せなくなるなど故障の原因となります。

保管について

MDを長時間本機に入れたままにしないでください。また、取り出したMDは、MD専用ケースに入れて保管してください。

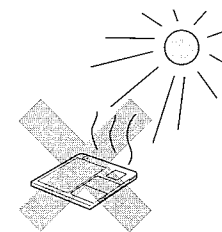


データ用のMDについて

データ用のMDは使用できません。音楽用のMDを使用してください。

高温に注意

MDを直射日光の当たる場所(ダッシュボードの上など)など温度が高くなるような場所に放置しないでください。MDのカートリッジが変形して使用できなくなります。



レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。故障の原因になります。



ディスクの操作

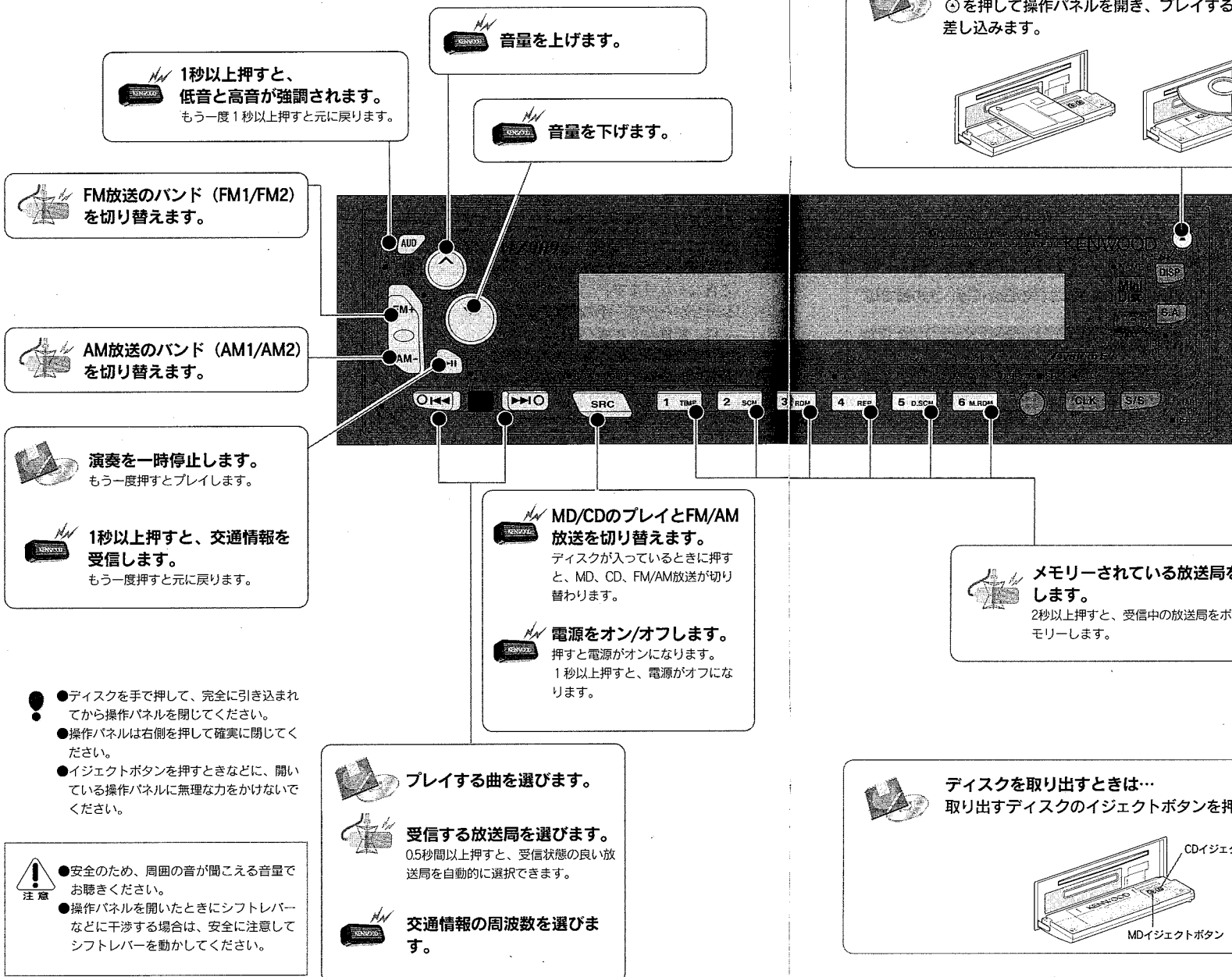


チューナーの操作



共通の操作

ディスクのプレイは簡単！ ディスクを差し込むだけです。



1秒以上押しと、低音と高音が強調されます。
もう一度1秒以上押しと元に戻ります。

音量を上げます。

音量を下げます。

FM放送のバンド (FM1/FM2) を切り替えます。

AM放送のバンド (AM1/AM2) を切り替えます。

演奏を一時停止します。
もう一度押しすとプレイします。

1秒以上押しと、交通情報を受信します。
もう一度押しすと元に戻ります。

MD/CDのプレイとFM/AM放送を切り替えます。
ディスクが入っているときに押しと、MD、CD、FM/AM放送が切り替わります。

電源をオン/オフします。
押しと電源がオンになります。
1秒以上押しと、電源がオフになります。

メモリーされている放送局を受信します。
2秒以上押しと、受信中の放送局をボタンにメモリーします。

- ディスクを手で押し、完全に引き込まれてから操作パネルを開けてください。
- 操作パネルは右側を押して確実に閉じてください。
- イジェクトボタンを押しときなどに、開いている操作パネルに無理な力をかけないでください。

注意
●安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。
●操作パネルを開いたときにシフトレバーなどに干渉する場合は、安全に注意してシフトレバーを動かしてください。

プレイする曲を選びます。

受信する放送局を選びます。
0.5秒間以上押しと、受信状態の良い放送局を自動的に選択できます。

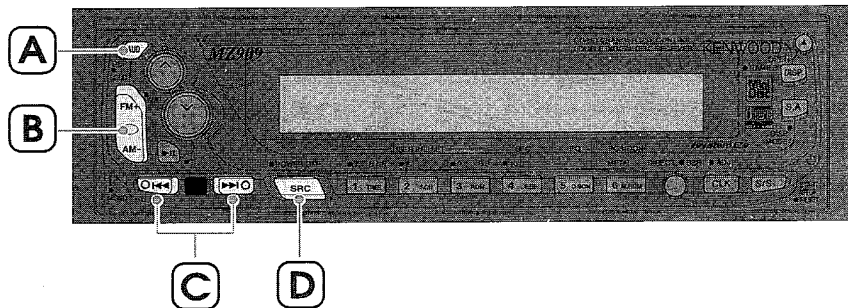
交通情報の周波数を選びます。

ディスクをプレイするときは…
①を押して操作パネルを開き、プレイするディスクを差し込みます。

メモリーされている放送局を受信します。
2秒以上押しと、受信中の放送局をボタンにメモリーします。

ディスクを取り出すときは…
取り出すディスクのイジェクトボタンを押します。

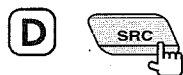
- Source Selection
- Audio Control
- Display Control
- Function Control
- Clock / Timer Control
- Disc Mode
- Tuner Mode
- Name Set / SBF
- Options
- Remote Control
- Trouble Shooting



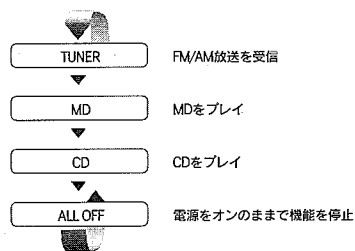
プレイするソースを選びます。
また、音質などを調節します。

ソース選択

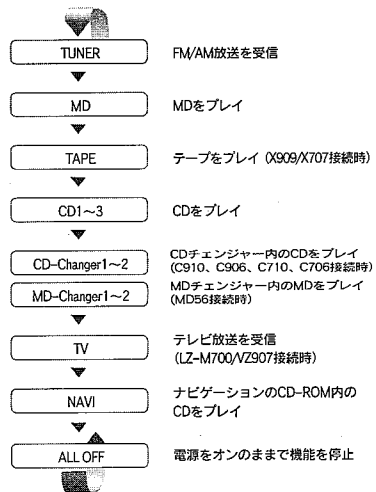
プレイするソースを切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



別売品が接続されているときには、次の順で切り替わります。

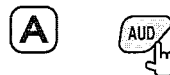


オーディオコントロール

音質やバランスなどを設定します。

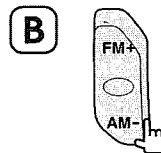
1 調節するソースに切り替えます

2 オーディオコントロールをオンにします

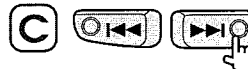


別売品のP707が接続されている場合は2回押します。

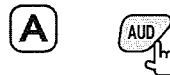
3 設定する項目を選択します



4 値を選択します



5 オーディオコントロールをオフにします

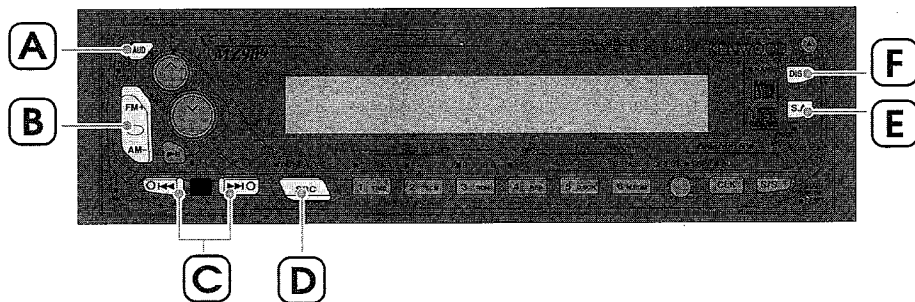


または、約10秒間以上、何も操作しないでおきます。

● BASS (低音) とTREBLE (高音) は、各ソースごとにメモリーされます。

設定できる項目と値は次のとおりです。

設定項目	設定値
BASS (低音)	-4~+4
TREBLE (高音)	-4~+4
BALANCE (左右)	L15~R15
FADER (前後)	F15~R15
HPF F (フロント低音カット)	THROU/40/60/80/100/120/150/180/220(Hz)
HPF R (リア低音カット)	THROU/40/60/80/100/120/150/180/220(Hz)
N-F LV (ノンフェーダーリアウト出力レベル)	-35~+5



ディスプレイに表示される情報を切り替えます。
また、本機の各種の機能を設定します。

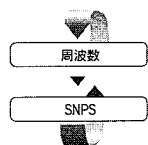
ディスプレイ上段表示

ディスプレイの上段に表示される情報を切り替えます。

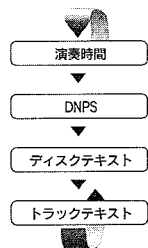


押すたびに次の順で切り替わります。

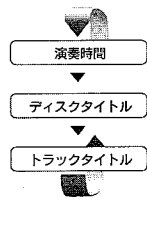
(チューナー時)



(CD/CDチェンジャー時)



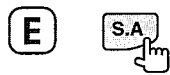
(MD/MDチェンジャー時)



ただし、ディスプレイの下段と同じ情報は表示されません。

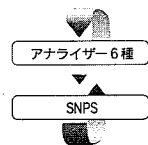
ディスプレイ下段表示

ディスプレイの下段のアナライザー表示方法を切り替えます。

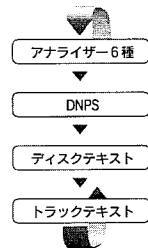


押すたびに次の順で切り替わります。

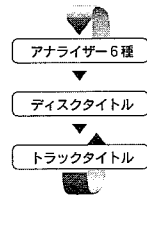
(チューナー時)



(CD/CDチェンジャー時)



(MD/MDチェンジャー時)



ただし、ディスプレイの上段と同じ情報は表示されません。

ディスプレイ全面表示

ディスプレイの表示モード (全面アナライザー表示 / 上下段独立表示) を切り替えます。



1秒以上押すたびに、全面アナライザー表示の表示方法 (6種類) を切り替えます。
短く押すと、上下段独立表示に戻ります。

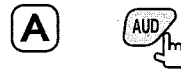
ファンクション設定

操作時のビープ音などの各種の機能を設定します。

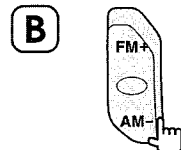
1 ALL OFFモードにします



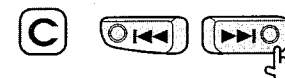
2 ファンクションコントロールをオンにします



3 設定する項目を選択します



4 値を選択します



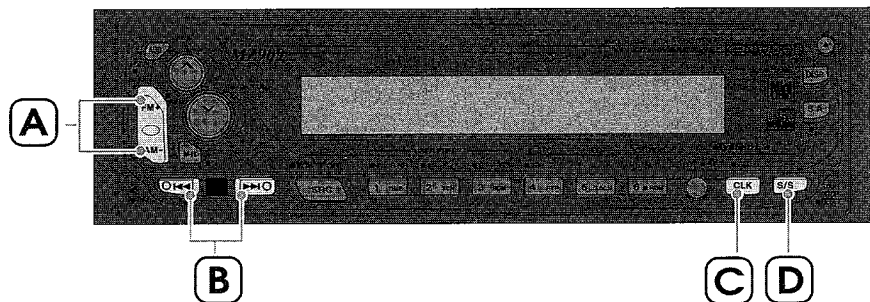
5 ファンクションコントロールをオフにします



設定できる項目と値は次のとおりです。

設定項目	設定値
BEEP (ビープ音)	ON/OFF
FM DIVER (FMダイバシティシステム)	ON/OFF
PREOUT (プリアウト出力選択)	REAR/N-F
DIMMER (ライトスイッチがオンときのディスプレイの明るさ)	LOW/MID/HIGH
SILENT (落ち着いた表示)	ON/OFF

(太字は初期設定値)



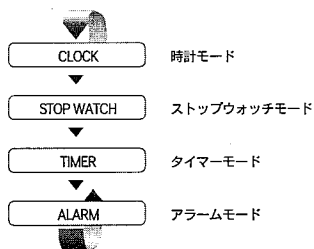
時刻を合わせたり、アラームをセットしたりします。

クロック/タイマーモード切り替え

クロック/タイマーモードを切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



時刻合わせ

時計を合わせます。

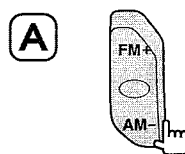
1 時計モードにします



2 時計合わせを開始します



3 “時” を合わせます



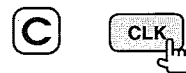
4 “分” を合わせます



時報に合わせるときは



5 時刻合わせを終了します



00秒からカウントがスタートします。

ストップウォッチ

ストップウォッチとして使うこともできます。

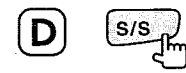
1 ストップウォッチモードにします



2 計測を開始します



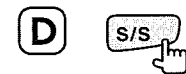
3 計測を停止します

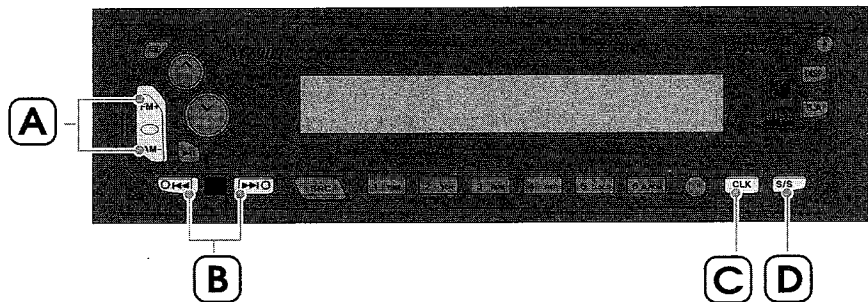


4 時間をクリアするときは…



計測を再開するときは





タイマー

セットした時間が経過したときにピーブ音を鳴らします。

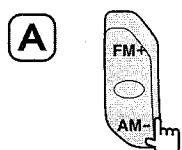
1 タイマーモードにします



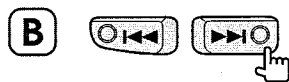
2 タイマーの時間合わせを開始します



3 “時” をセットします



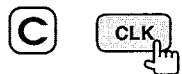
4 “分” をセットします



“00” にするときは



5 時間合わせを終了します



6 タイマーをスタートします



タイマーを停止するときは



タイマーをクリアするときは



7 ビーブ音を止めます



または、約5秒間で止まります。

アラーム

セットした時刻にピーブ音を鳴らします。

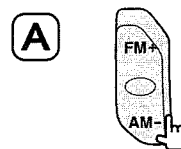
1 アラームモードにします



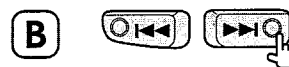
2 アラームの時刻合わせを開始します



3 “時” をセットします



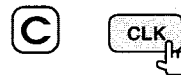
4 “分” をセットします



“00” にするときは



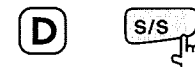
5 時刻合わせを終了します



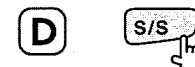
6 アラームをオンにします



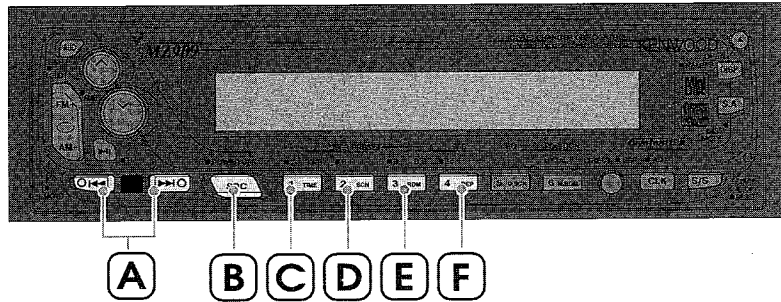
7 アラームをオフにします



8 ビーブ音を止めます



または、約15秒間で止まります。



MDやCDをいろいろにプレイします。

トラックリピートプレイ

現在聴いている曲を繰り返しプレイします。



押すたびに、トラックリピートプレイがオン/オフされます。

トラックスキャンプレイ

ディスク内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探ることができます。

1 トラックスキャンプレイを開始します



2 聴きたい曲のところで...

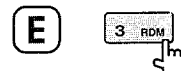


その曲からプレイされます。

- すべてのトラックがスキャンされると、トラックスキャンは、自動的に終了します。

トラックランダムプレイ

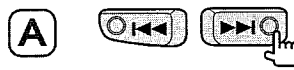
現在のディスク内の曲をランダムな順でプレイします。



押すたびに、トラックランダムプレイがオン/オフされます。

トラックサーチ

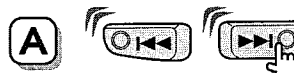
順に曲を選びます。



押すたびに、次の曲、または現在プレイ中の曲の先頭/前の曲へトラックサーチします。

マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り/早戻しします。



ボタンを押している間だけ、早送り/早戻しされます。

タイトル/テキストスクロール

ディスクタイトルやトラックタイトルなどを流れる文字で表示します。

MDのプレイ中は



押すたびに、タイトルスクロールがオン/オフします。オン時は表示が常にスクロールします。オフ時は表示が切り替わったときに1回スクロールします。

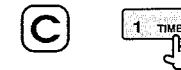
CDのプレイ中は



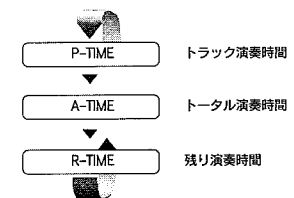
1秒以上押すたびに、テキストスクロールがオン/オフします。オン時は表示が常にスクロールします。オフ時は表示が切り替わったときに1回スクロールします。

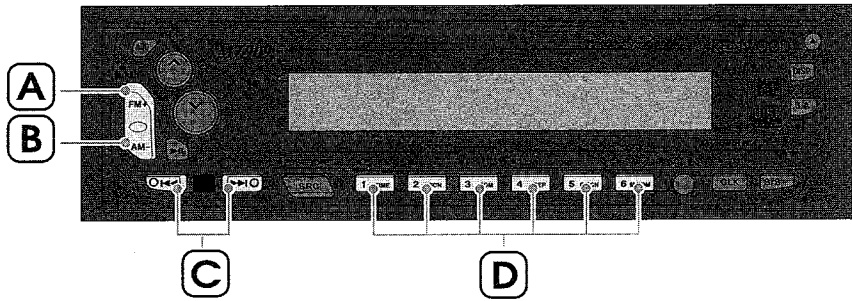
演奏時間表示切り替え (CDのみ)

表示するCDの演奏時間を切り替えます。



押すたびに、次の順に表示が切り替わります。





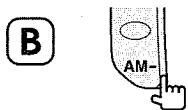
FM/AM放送を受信できます。
また、各バンドごとに6局までの放送局をメモリーしておくこともできます。

バンド切り替え

FM1とFM2を切り替えます。



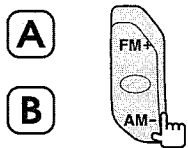
AM1とAM2を切り替えます。



チューニング

受信する放送局を選びます。

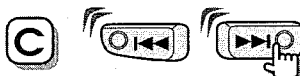
1 バンドを選びます



2 放送局を選びます



押すたびに、周波数が1ステップずつ変わります。

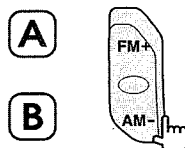


受信状態の良い放送局を自動的に選びます。

オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

1 バンドを選びます



2 オートメモリーします

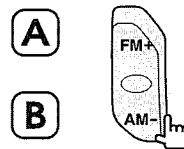


6局メモリーするか、周波数を一周すると自動的にオートメモリーは終了します。

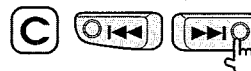
マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

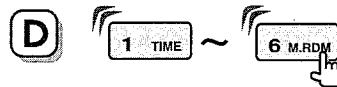
1 バンドを選びます



2 放送局を選びます



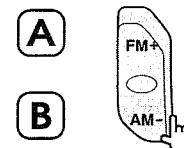
3 メモリーするボタン (1~6のいずれか) を選びます



プリセットチューニング

メモリーボタン (1~6) にメモリーされている放送局を受信します。

1 バンドを選びます



2 メモリーボタン (1~6のいずれか) を選びます

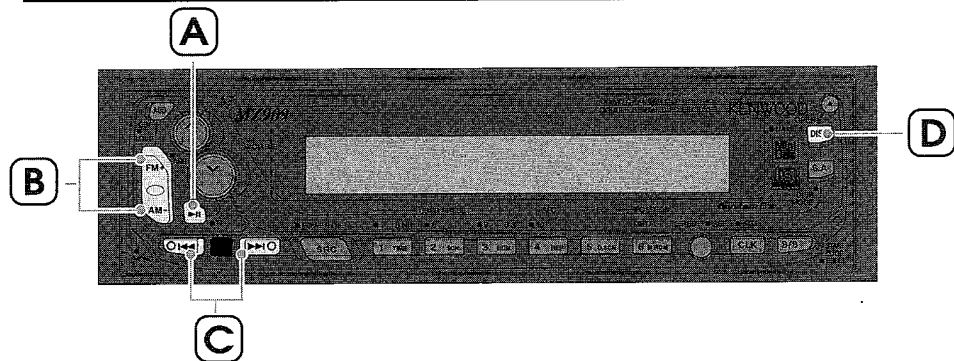


強制モノラル受信

FM放送のノイズが多いときに、モノラルに切り替えてノイズを少なくします。



1秒以上押すたびに、モノラル受信のオン/オフが切り替わります。



FM/AM放送局やCDに名前を付けて表示させることができます (SNPS/DNPS)。ディスクテキストやディスクタイトル、DNPS、SNPSでディスクや放送局を選択することもできます。

SNPS (ステーションネームプリセット)

FM/AM放送局に名前を付けます。FM/AM放送局にそれぞれ30局までステーションネームをセットできます。

1 放送局を選びます

24ページを参照してください。

2 SNPSを開始します



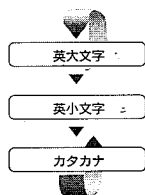
3 文字を入力する位置にカーソルを移動します



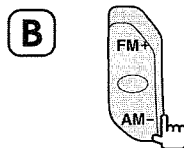
4 文字の種類を選びます



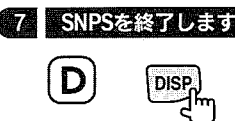
押すたびに次の順で切り替わります。



5 文字を選びます



6 3~5を繰り返して、すべての文字を入力します



7 SNPSを終了します

- 10秒間操作を中断すると、その時点で名前が確定されます。
- 名前は12文字まで登録できます。

DNPS (ディスクネームプリセット)

CDに名前を付けます。CD1/2/3は各10枚まで、CDチェンジャーは各100枚までディスクネームをセットできます。

1 名前を付けるCDをプレイします

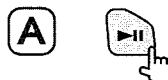
2 DNPSを開始します



3 文字を入力する位置にカーソルを移動します



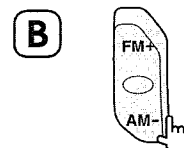
4 文字の種類を選びます



押すたびに次の順で切り替わります。



5 文字を選びます

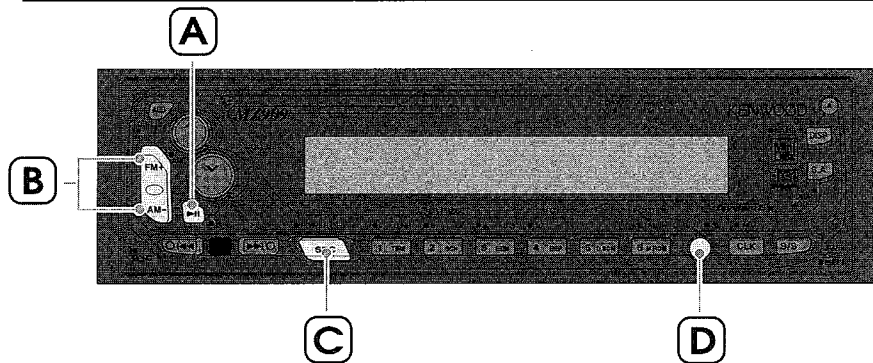


6 3~5を繰り返して、すべての文字を入力します



7 DNPSを終了します

- 10秒間操作を中断すると、その時点で名前が確定されます。
- CDはトラック数 (曲数) と総録音時間で識別されます。このため、これらが同じCDがセットされている場合には識別できません。
- 名前は12文字まで登録できます。



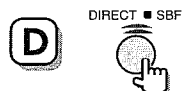
SBF (セレクトバイファイル)

メモリーボタンに記憶されているFM/AM放送局を名前で選択できます。

1 FM/AM放送局を受信します

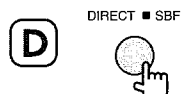


2 SBFを開始します



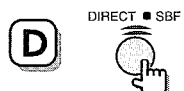
メモリーボタンに記憶されている放送局名が5秒間ずつ次々と表示されます。

3 聴きたいFM/AM放送局を選びます



- [FM] または [AM] でFM/AM放送局名を早送り/早戻しできます。
- [FM] でFM1/2バンドにメモリーされている放送局名に、[AM] でAM1/2バンドにメモリーされている放送局名に切り替わります。
- SNPSで名前が登録されていない放送局は周波数が表示されます。

4 SBFを中止するときは…



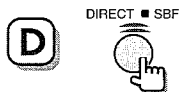
イニシャル検索

MDやCDを名前のイニシャルで選択します。

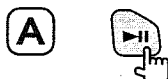
1 MDまたはCDをプレイします



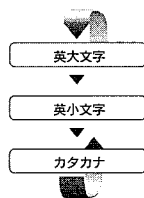
2 SBFを開始します



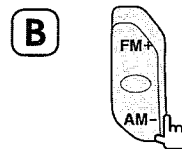
3 文字の種類を選びます



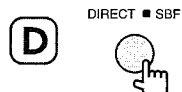
押すたびに次の順で切り替わります。



4 イニシャルの文字を選びます

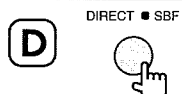


5 検索します



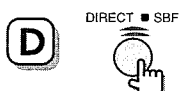
指定した文字で始まるディスクが5秒間ずつ次々と表示されます。

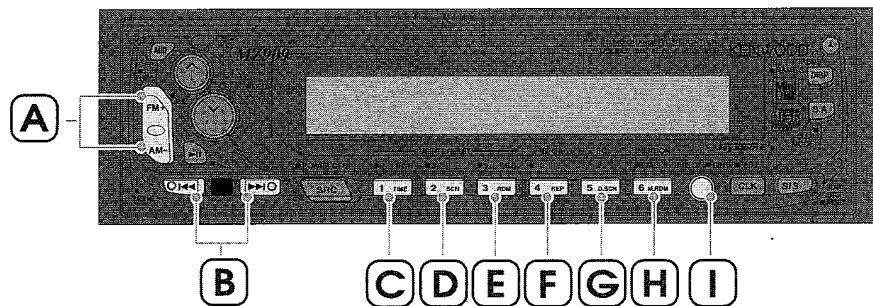
6 プレイするディスクを選びます



- [FM+] または [AM-] でディスク名を早送り/早戻しできます。
- 指定したイニシャルに該当するディスクが1枚しかないときは手順6の操作は省略されて、すぐにそのディスクのプレイが始まります。
- 手順3~4を省略すると、すべてのディスクが検索対象になります。

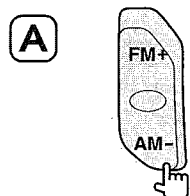
7 イニシャル検索を中止するときは…



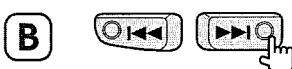


別売品のTV・CDプレーヤー“VZ907”、CDチェンジャー“C910”/“C906”/“C710”/“C706”、MDチェンジャー“MD56”、またはDSPグラフィックイコライザーCDプレーヤー“D909”/“D707”を接続しているときは、本機からコントロールできます。

ディスクサーチ (チェンジャーのみ)
プレイするディスクを選択します。



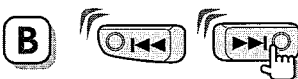
トラックサーチ
順に曲を選びます。



押すたびに、次の曲、または現在プレイ中の曲の先頭/前の曲へトラックサーチします。

マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り/早戻しします。



ボタンを押している間だけ、早送り/早戻しされます。

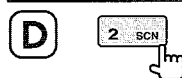
トラックリピートプレイ
現在聴いている曲を繰り返しプレイします。



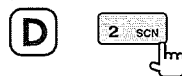
押すたびに、トラックリピートプレイがオン/オフされます。

トラックスキャンプレイ
ディスク内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探ることができます。

1 **トラックスキャンプレイを開始します**



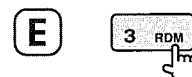
2 **聴きたい曲のところ...**



その曲からプレイします。

- すべてのトラックがスキャンされると、トラックスキャンは、自動的に終了します。

トラックランダムプレイ
現在のディスク内の曲をランダムな順でプレイします。



押すたびに、トラックランダムプレイがオン/オフされます。

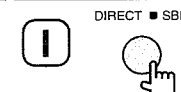
ディスクリピートプレイ (チェンジャーのみ)
現在のディスクを繰り返しプレイします。



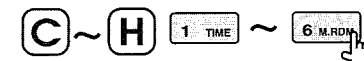
1秒以上押すたびに、ディスクリピートプレイがオン/オフされます。

ダイレクトディスクサーチ (チェンジャーのみ)
チェンジャー内のディスクをダイレクトに選ぶことができます。

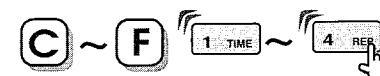
1 **ダイレクトモードを開始します**

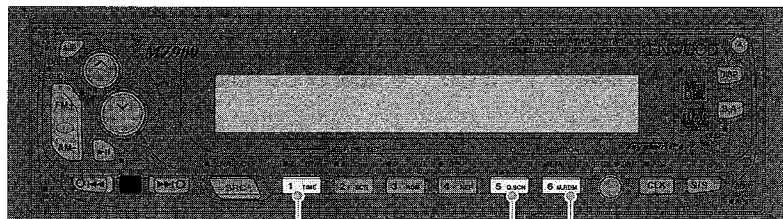


2 **プリセットボタン (1~6のいずれか) を選びます**



ディスク7~10を選ぶときは





A

B C

ディスクスキャンプレイ (チェンジャーのみ)
 マガジン内の各ディスクの先頭部分を10秒ずつプレイしてディスクを探ることができます。

1 ディスクスキャンプレイを開始します



2 聴きたいディスクのところまで



そのディスクからプレイします。

● すべてのディスクがスキャンされると、ディスクスキャンプレイは自動的に終了します。

マガジンランダムプレイ (チェンジャーのみ)
 マガジン内のディスクをランダムな順でプレイします。



押すたびに、マガジンランダムプレイがオン/オフされます。

タイトル/テキストスクロール
 ディスクタイトルやトラックタイトルなどを流れる文字で表示します。

MDプレイ中は



押すたびに、タイトルスクロールがオン/オフします。
 オン時は表示が常にスクロールします。オフ時は表示が切り替わったときに1回スクロールします。

CDプレイ中は



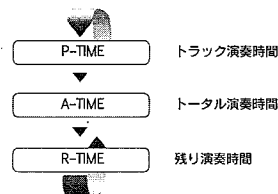
1秒以上押すたびに、テキストスクロールがオン/オフします。
 オン時は表示が常にスクロールします。オフ時は表示が切り替わったときに1回スクロールします。

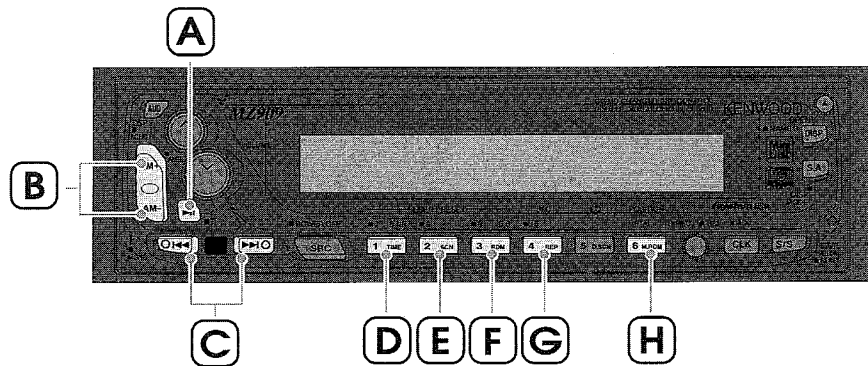
演奏時間表示切り替え (CDのみ)

表示するCDの演奏時間を切り替えます。



押すたびに、次の順に表示が切り替わります。

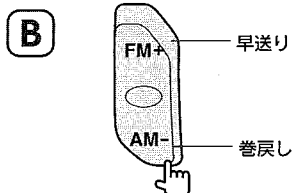




別売品のDSPグラフィックイコライザーカセットプレーヤー“X909”/“X707”を接続しているときには、本機からコントロールできます。

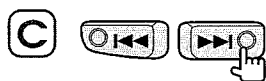
早送り／巻戻し

テープを早送り／巻戻しします。



DPSS (ダイレクトプログラムサーチシステム)

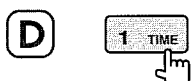
先の曲や前の曲を飛び越し選曲します。



連続して押すと、9曲まで飛び越し選曲できます。

ドルビーB NRシステム

ドルビーB NRシステムをオン／オフします。



押すたびに、ドルビーB NRシステムがオン／オフされます。

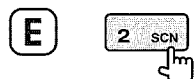
インデックススキャンプレイ

テープ内の各曲の先頭部分を10秒ずつプレイして曲を探すことができます。

1 インデックススキャンプレイを開始します



2 聴きたい曲のところで...



または



その曲からプレイされます。

ブランクスキップ

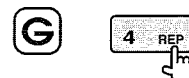
無録音部分を早送りします。



押すたびに、ブランクスキップがオン／オフされます。

リピートプレイ

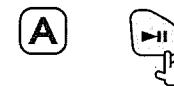
現在の曲を繰り返しプレイします。



押すたびに、リピートプレイがオン／オフされます。

プログラム

テープの再生方向 (A面とB面) を切り替えます。



押すたびに、テープの再生方向が切り替わります。

テープセレクトター

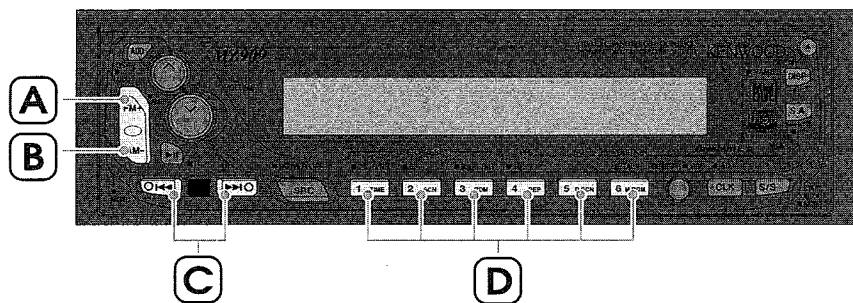
テープポジション (ノーマル／メタル) を切り替えます。



押すたびに、テープポジションが切り替わります。

なお、メタル (TypeIV) またはクロム (Type II) はメタルポジションで使用します。

● DPSS、インデックススキャンプレイ、リピートプレイするためには、曲間に4秒間以上の無録音部分が必要です。



別売品のTVモニター“LZ-M700”または“VZ907”が接続されているときに、本機からコントロールすることもできます。

チューニング

受信するTV放送を選びます。



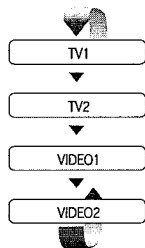
動作は接続している別売品のTVモニター側の設定によって異なります。
詳しくは、そちらの取扱説明書を参照してください。

バンド/ビデオ切り替え

TV放送のバンドとビデオ入力を切り替えます。



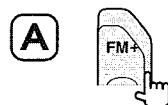
押すたびに次の順で切り替わります。



オートメモリー

バンドごとに受信状態の良い放送局を自動的にメモリーします。

1 バンドを選びます



2 オートメモリーします



● 6局メモリーするか、チャンネルを一巡すると自動的にオートメモリーは終了します。

マニュアルメモリー

受信中のTV放送局をメモリーします。

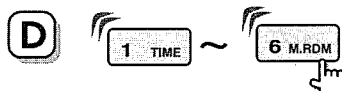
1 バンドを選びます



2 メモリーする放送局を選択します



3 メモリーするボタン (1~6のいずれか) を選びます



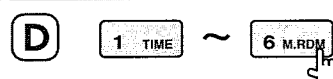
プリセットチューニング

メモリーされているチャンネルを選びます。

1 バンドを選択します



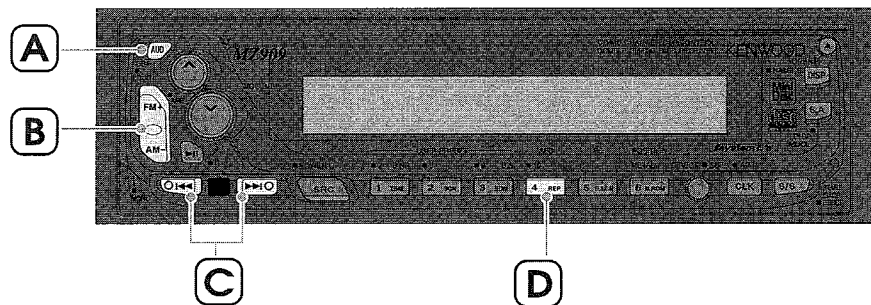
2 メモリーボタン (1~6のいずれか) を選びます



音声多重切り替え

音声多重のメイン音声とサブ音声を切り替えます。





別売品のDSPイコライザー“P707”が接続されているときに、本機からコントロールします。
 なお、DSPグラフィックイコライザーCDプレーヤー“D909”/“D707”またはDSPグラフィックイコライザーカセットプレーヤー“X909”/“X707”のDSPはD909/D707またはX909/X707側でコントロールします。

サウンドフィールドの選択

疑似音場効果を呼び出します。

1 DSPコントロールをオンにします



2 サウンドフィールドを選びます



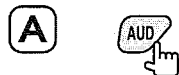
押すたびに次の順で切り替わります。

- ▼ BYPASS バイパス
- ▼ CONCERT コンサート
- ▼ STADIUM スタジアム
- ▼ CHURCH 教会
- ▼ LIVE ライブ
- ▼ JAZZ ジャズ
- ▼ DISCO ティスコ
- ▼ STUDIO スタジオ
- ▼ L ROOM リスニングルーム
- ▼ CLUB クラブ
- ▼ THEATER 劇場

DSPの調節

DSPの効果のレベル(“SFC Lev〇〇”)、リア側での低音ブースト(“DBB Lev〇〇”)ダイナミックレンジの圧縮(“Comp 〇〇”)を調節します。

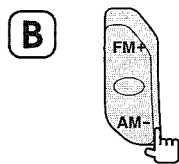
1 DSPコントロールをオンにします



2 SFCモードを選択します



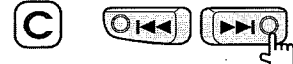
3 調節する項目を選択します



押すたびに、次の順に表示が切り替わります。

- ▼ SFC サウンドフィールド
- ▼ DBB リアバスブースト
- ▼ COMP ダイナミックレンジコンプレッション

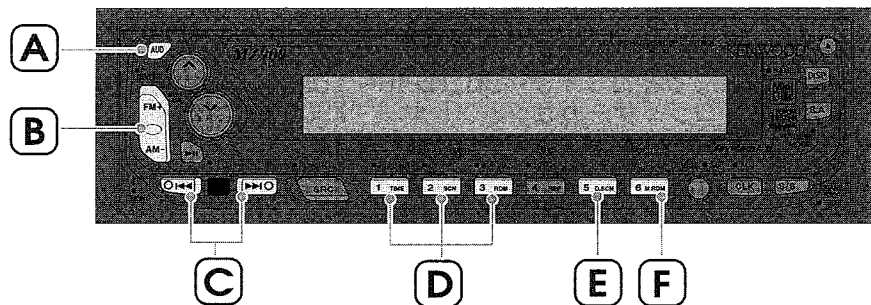
4 レベルを調節します



(SFC)	(DBB)	
▼ HIGH DSPの効果大	▼ OFF ブーストオフ	
▼ MID (初期設定)	▼ STEP1 ブースト域狭	
▼ LOW DSPの効果小	▼ STEP2 (初期設定)	
	▼ STEP3 ブースト域広	
(Comp)		
▼ OFF コンプレッションオフ (初期設定)		
▼ STEP1 コンプレッションレベル小		
▼ STEP2		
▼ STEP3 コンプレッションレベル大		

サウンドフィールドがバイパス (BYPASS) の場合には“Comp”以外は調節できません。

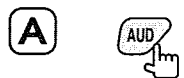
4-REP を1秒以上押しと、サウンドフィールドをバイパス (BYPASS) にセットできます。



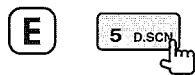
イコライザーモードの選択

イコライザーカーブを呼び出します。

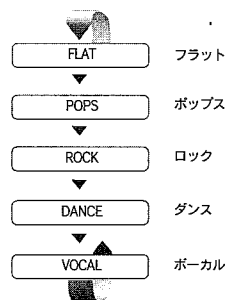
1 DSPコントロールをオンにします



2 イコライザーカーブを選択します



押すたびに次の順で切り替わります。



● [5 D.SCN] を1秒以上押すと、イコライザーカーブをフラット (FLAT) にセットできます。

イコライザーカーブの調節

車や音楽に合わせて独自のイコライザーカーブに調節できます。

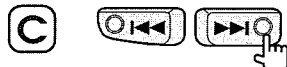
1 DSPコントロールをオンにします



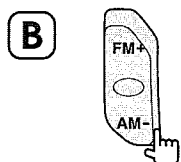
2 イコライザーカーブモードを選択します



3 調節する周波数を選びます



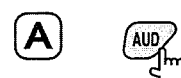
4 レベルを調節します



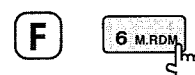
ポジションの選択

聴く位置に合わせてDSPの効果を調節します。

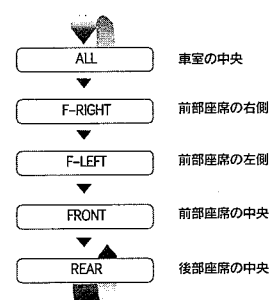
1 DSPコントロールをオンにします



2 ポジションを選びます



押すたびに次の順で切り替わります。



● バランス/フェーダーは中央位置で使用してください。
● [6 M.RDM] を1秒以上押すと、ポジションを車室の中央 (ALL) にセットできます。

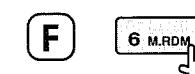
ルームサイズの選択

室内サイズやフロント/リアスピーカーの距離に合わせてDSPを調節します。

1 DSPコントロールをオンにします



2 ポジションを選びます

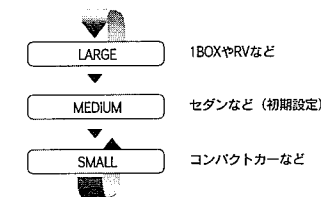


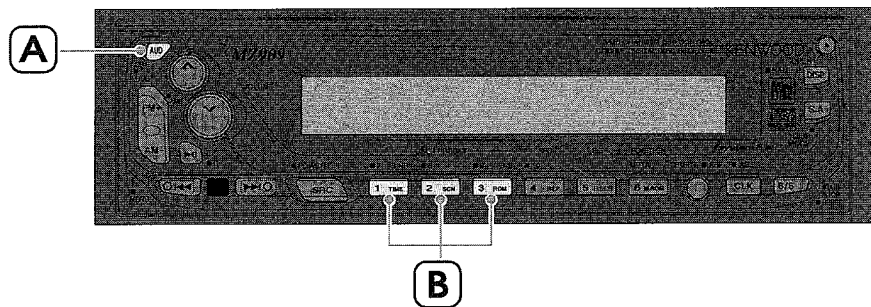
● ポジションが車室の中心 (ALL) の場合には、ルームサイズは選択できません。

3 ルームサイズを選びます



押すたびに、次の順に表示が切り替わります。

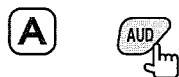




ユーザー設定のメモリー

ユーザー独自のDSP設定を3種類までメモリーしておくことができます。

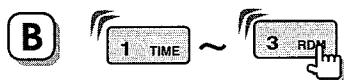
1 DSPコントロールをオンにします



2 DSPを設定します

サウンドフィールド、DSP調節、イコライザーモード、イコライザーカーブ、ポジション、ルームサイズを設定します。

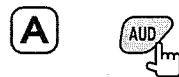
3 メモリーするボタン (1~3のいずれか) を選びます



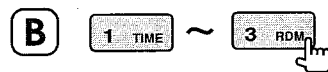
ユーザー設定の呼び出し

メモリーしたユーザー設定を呼び出します。

1 DSPコントロールをオンにします



2 メモリーボタン (1~3のいずれか) を選びます



DSPディフオート

DSPの効果を解除します。

1 DSPコントロールをオンにします

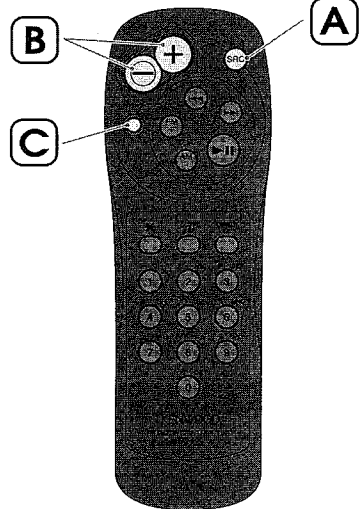


2 DSP効果を解除します



サウンドフィールドはバイパス (BYPASS)、DSP調節は初期設定、イコライザーカーブはフラット (FLAT)、ポジションは車室中央 (ALL) に設定されます。

Common Operation



ソース切り替え

A プレイするソースを切り替えます。

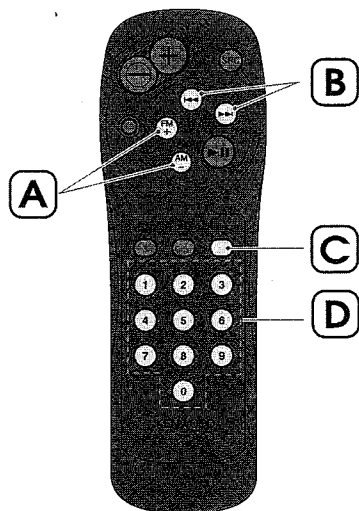
音量調節

B 音量を調節します。

アッテネーター

C ワンタッチで音量を小さくします。もう一度押すと元の音量に戻ります。

Tuner Operation



バンド切り替え

A 受信するバンドを切り替えます。

選局

B 受信する放送局を選択します。

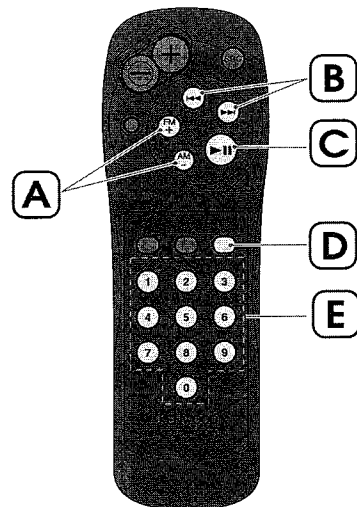
ダイレクトサーチ

C このボタンに続けて、受信する放送局をテンキーで指定します。
例：76.1MHz(FM)の場合 (3桁)
⑦⑥①
例：1242kHz(AM)の場合 (4桁)
①②④②

テンキー

D メモリされている放送局の番号を選択します。(①~⑥)
DIRECTキーに続けて、受信するFM/AM放送局の周波数の数字を指定します。

Disc Operation



ディスクサーチ

A 外部ディスクチェンジャー内でプレイするディスクを選択します。また、テンキーに続けて押すと、指定した番号のディスクをダイレクトサーチします。

トラックサーチ

B プレイする曲を選択します。また、テンキーに続けて押すと、指定した番号のトラックをダイレクトサーチします。

プレイ/ポーズ

C プレイを一時停止します。もう一度押すと、プレイを再開します。

ダイレクトサーチ

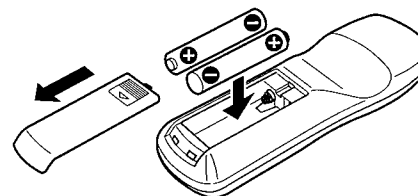
D このボタンに続けて、プレイするディスク番号をテンキーで指定します。
例：ディスク番号6の場合
⑥

テンキー

E DIRECTキーに続けて、プレイする曲のディスク番号の数字を指定します。また、テンキーに続けてディスクサーチまたはトラックサーチキーを押すと、ダイレクトサーチできます。

電池の交換

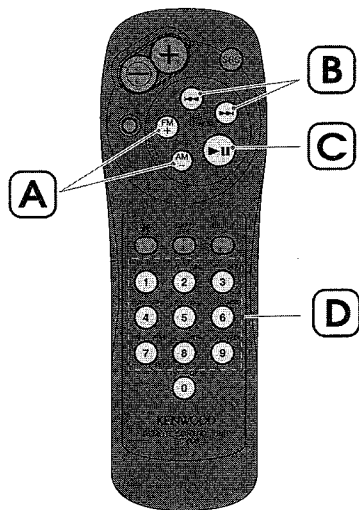
付属の電池 (単四型2本) を+/-の向きを正しく合わせて入れてください。



注意 リモコンは、ブレーキ操作などによって動かない場所においてください。ペダルの下などに落ちると、運転操作に支障をきたして危険です。

- 電池の向きは正しく合わせてください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池を交換するときは、2本同時に交換してください。

Tape Operation



早送り/巻戻し

A テープを早送り/巻戻しします。

DPSS

B 次の曲または現在の曲の先頭/前の曲へ飛び越し選局します。

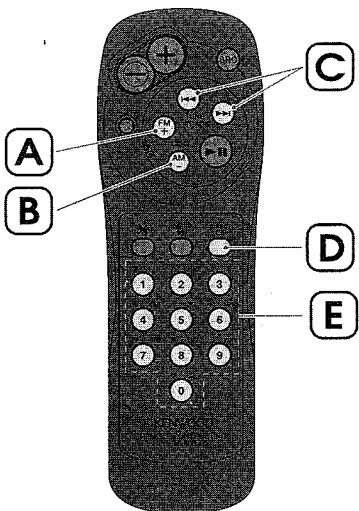
プログラム

C テープの再生方向 (A面/B面) を切り替えます。早送り、早戻し、DPSS中に操作すると、それぞれ解除されます。

テンキー

D 飛び越す曲数を指定し、 または を押します。

TV Operation



バンド/ビデオ切り替え

A 受信するバンド (TV1/TV2) およびビデオ (Video1/Video2) を切り替えます。

音声多重切り替え

B メイン音声/サブ音声を切り替えます。

チューニング

C 受信する放送局を選択します。

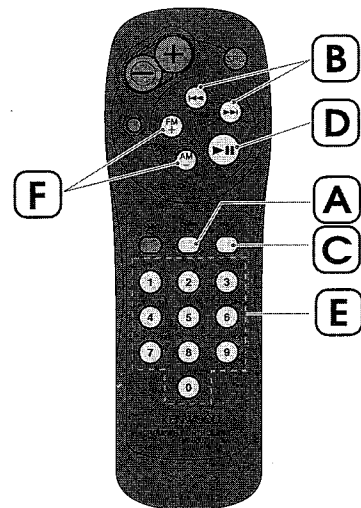
ダイレクト選局

D このボタンに続けて、受信する放送局のチャンネルをテンキーで指定します。
例：12チャンネルの場合
 ①②

テンキー

E メモリーされている放送局の番号を選択します。(①~⑥)
また、DIRECTキーに続けて、受信する放送局のチャンネルを指定します。

SNPS/DNPS + SBF Operation



モード切り替え

A SNPS/DNPSおよびSBFモードを切り替えます。
チューナーモード中は、一度押しとSBFモードになり、もう一度押しと解除します。
ディスクモード中は、一度押しと検索を開始し、もう一度押しと解除します。

カーソル

B カーソルを文字を入力する位置に移動します。

終了

C SNPS/DNPSモードで押しと、登録完了となります。
SBFモードで押しと、選択した放送局やディスクを呼び出します。

文字種切り替え

D 入力する文字の種類 (英大文字/英小文字/カタカナ) を切り替えます。

テンキー

E 文字を入力します。
例：「コ」を入力する場合 (カタカナ)
② (5回押し)
例：「h」を入力する場合 (英小文字)
④ (2回押し)

文字選択

F 文字を順に切り替えます。

Trouble Shooting

こんなとき	なぜ?	こうします
音が出ない/音が小さい	<ul style="list-style-type: none"> ●音量が最小になっている。 ●アッテネーターがオンになっている (リモコン)。 ●ヒューズが切れている。 ●フェダー、バランスが片方に寄っている。 ●入出力ケーブル、電源コードなどの接続が間違っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●音量を適度に上げてください。 ●アッテネーターをオフしてください。 ●コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。 ●フェダーやバランスを正しく調整してください。 ●「接続」(56ページ)を見て正しく接続しなおしてください。
操作スイッチを押しても動作しない	内蔵のマイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください (8ページ)。
音質が悪い (音がひずむ)	<ul style="list-style-type: none"> ●音量が大きすぎる。 ●スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。 ●スピーカーの配線が間違っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●音量を適正に調整してください。 ●スピーカーの配線を確認してください。 ●スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。
チューナーの感度が悪い	<ul style="list-style-type: none"> ●自動車のアンテナが伸びていない。 ●アンテナコントロール電源が接続されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナを十分に伸ばしてください。 ●「接続」(56ページ)を見て正しく接続してください。
SRCボタンを押してもディスク (MD/CD) に切り替わらない	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクがセットされていない。 ●ディスクのイジェクト中に操作パネルを開めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●プレイするディスクをセットしてください。 ●イジェクトボタンを押して、ディスクをセットしなおしてください。
ディスク (MD/CD) が入らない	すでにディスクが入っている。	入っているディスクを取り出してから入れてください。
MDが引き込まれない	MDを入れる方向が間違っている、または裏返しになっている。	正しい方向で入れてください。
MDが引き込まれても、すぐにイジェクトされる	MDに何も録音されていない。	録音/記録されたMDを入れてください。
DNPSができない	MDをプレイしている。	本機ではMDにDNPSはできません。

こんなとき	なぜ?	こうします
ディスク (MD/CD) のプレイ中に振動で音飛びする	<ul style="list-style-type: none"> ●取り付け角度が30°を超えている。 ●取り付けが不安定になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●30°以下になるように取り付けしなおしてください。 ●しっかりと取り付けしなおしてください。なお、駐車中でも音飛びする場合はディスクに原因があります。
ディスク (MD/CD) のプレイ時の音質が悪い (プレイ時にノイズが入る)	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクの録音状態が悪い。 ●CDに傷や汚れがついている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●他のディスクをプレイして問題がなければ、そのディスク自体に原因があります。 ●「CDとMDの取り扱い」(10ページ)を見て、CDをクリーニングしてください。
選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない	トラックランダムプレイがオンになっている。	トラックランダムプレイをオフにしてください (22ページ)。
テープが入らない (X909/X707接続時)	<ul style="list-style-type: none"> ●すでにテープが入っている。 ●カセットハーフが変形している。 ●逆向きに入れようとした。 	<ul style="list-style-type: none"> ●入っているテープを取り出してください。 ●他のカセットテープを使用してください。 ●テープが見える面を右にして入れてください。
CDをプレイできない	<ul style="list-style-type: none"> ●CDが裏返しである。 ●CDが異常に汚れている。 ●結露している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●レーベル面を上にして入れなおしてください。 ●「CDとMDの取り扱い」(10ページ)を見て、CDをクリーニングしてください。 ●しばらく放置してから使用してください。
DSP効果が得られない (D909/X909/D707/X707/P707接続時)	<ul style="list-style-type: none"> ●2スピーカーシステムになっている。 ●フロントスピーカーとリアスピーカー、あるいは右スピーカーと左スピーカーが逆に接続されている。 ●スピーカーの極性が逆に接続されている。 ●フェダーまたはバランスの調整が片側に片寄っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「接続」(56ページ)を見て正しく接続してください。 ●フェダーやバランスを正しく調整してください。
SRCボタンを押しても、テープに切り替わらない (X909/X707接続時)	<ul style="list-style-type: none"> ●カセットテープがセットされていない。 ●正しく接続されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●テープをセットしてください。 ●「接続」(56ページ)を見て正しく接続してください。

Trouble Shooting

こんなとき	なぜ?	こうします
DSPをコントロールできない (D909/X909/D707/X707/P707接続時)	<ul style="list-style-type: none"> ●DSPとしてD909/D707またはX909/X707が接続されている。 ●P707が正しく接続されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●D909/D707またはX909/X707は、それぞれの操作パネルから操作してください。 ●「接続」(56ページ)を見て正しく接続してください。
MD-CHやCD-CHとはなに?	—	MD-CHとは、外部接続されたMDチェンジャー(MD56)です。CD-CHとは、外部接続されたCDチェンジャー(C910/C906など)です。また、複数接続されている場合には、MD-CH1/MD-CH2...などと順に番号が付きます。なお、ディスクがセットされていないチェンジャーはソースとして表示されません。
CD2やCD3とはなに?	—	CD1が本機、CD2以降がD909などです。なお、ディスクがセットされていないプレーヤーはソースとして表示されません。
SRCボタンを押しても、テレビに切り替わらない	正しく接続されていない。	「接続」(56ページ)を見て、TVモニターLZ-M700/VZ907を正しく接続してください。
セットしてあるアラームが鳴らない	電源がオフになっている。	電源をオンにしてください。
SNPS表示にしても"NO NAME"と表示される	ステーションネームが登録されていない。	ステーションネームを登録してください(26ページ)。
タイトル表示に切り替えても"NO TITLE"("NO TEXT")と表示される	ディスクタイトルやトラックタイトルが記録されていない。	MDにディスクタイトルなどを記録すると表示されます。
SBF/イニシャル検索で名前が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ●ステーションネームやディスクネームが登録されていない。 ●ディスクがディスクタイトル/ディスクテキストに対応していない。 	ステーションネームやディスクネームを登録してください(26、27ページ)。
同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない	トラックリピートがオンになっている。	トラックリピートをオフにしてください(22ページ)。
タイトルなどがスクロールされる	タイトルスクロール(MD)またはテキストスクロール(CD)がオンになっている。	タイトルスクロールとテキストスクロールは一緒にオン/オフされます。どちらかをオフにしてください。

こんなとき	なぜ?	こうします
テープでDPSS、リピート、インテックスキャンできない	曲間の無録音部分が短すぎる。	曲間に無録音部分を4秒以上入れてください。
曲の途中で早送りされる	録音レベルの低い部分が10秒間以上ある。	ブランクスキップをオフにしてください。
ブランクスキップされない	無録音部分の雑音が大きいです。	雑音が小さくなるように録音してください。
曲の先頭しかプレイされない	トラックスキンプレイがオンになっている。	トラックスキンプレイをオフにしてください。
チェンジャー内の同じディスクだけしかプレイされない	ディスクリピートプレイがオンになっている。	ディスクリピートプレイをオフにしてください。
曲が順にプレイされない	トラックランダムプレイがオンになっている。	トラックランダムプレイをオフにしてください。
ディスクが順に演奏されない	マガジンランダムプレイがオンになっている。	マガジンランダムプレイをオフにしてください。
SNPS時に1局目のステーションネームが消えた	31局目のステーションネームを登録した。	登録できるステーションネームは30局分です。
DNPS時にディスクのディスクネームが消えた	11枚目(CDプレーヤー)または101枚目(ディスクチェンジャー)のディスクネームを登録した。	CDプレーヤーで登録できるディスクネームは10枚分です。また、ディスクチェンジャーで登録できるディスクネームは100枚分です。
ディスクネームがまちがって表示される	総録音時間とトラック数が同じディスクがすでに登録されている。	識別する方法はありません。
FM/AM放送を聞いているときに、ラウドネスで高音が強調されない	Tuner Modeでは低音のみが強調されます。	—
ノンフェーダープリアウト出力レベル(NON-FAD LEVEL)の調節ができない	ファンクション設定のプリアウト(PREOUT)がリア(REAR)に設定されている。	ファンクション設定のプリアウト(PREOUT)をノンフェーダープリアウト(N-F)に設定してください。
ダイレクトディスクサーチができない	ディスクチェンジャーがBUS変換ボックス"CA-57ZX"を使用している。	BUS変換ボックス"CA-57ZX"を使用しているときは、ダイレクトディスクサーチはできません。

Trouble Shooting

こんなとき

なぜ?

こうします

<ul style="list-style-type: none"> ● バランスとフェーダー以外のオーディオコントロールが効かない ● 'NBAS'や'NTRE'が表示される ● フロント/リアスピーカーおよびフロント/リアプリアウト (N-F選択時はフロントプリアウト) の音質調節ができない 	DSPイコライザー"P707"、DPSグラフィックイコライザーCDプレーヤー"D909"/"D707"またはDPSグラフィックイコライザーカセットプレーヤー"X909"/"X707"が接続されている。	<ul style="list-style-type: none"> ● "P707"、"D909"/"D707"または"X909"/"X707"のグラフィックイコライザーで調節してください。 ● 本機でコントロールできるのはノンフェーダープリアウトの音質だけです。 ● "P707"、"D909"/"D707"または"X909"/"X707"のグラフィックイコライザーで調節してください。
MDチェンジャー"MD56"などでSNPS/DNPSできない	BUS変換ボックス"CA-57ZX"を使用して接続している。	BUS変換ボックス"CA-57ZX"を使用して接続しているユニットではSNPS/DNPSは使用できません。
MDのタイトルが正しく表示されない	漢字には対応していない。	漢字は表示できません。
ナビゲーションシステムの音声ガイドの音量が、ガイドのたびに小さくなる	ナビゲーションシステムの"オーディオミュート"がオンになっている。	ナビゲーションシステムの"オーディオミュート"をオフにしてください。
TVの音声をメインとサブに切り替えられない	受信中の放送が音声多重放送ではない。	音声多重放送を受信中のみ切り替えが可能です。

●システムの接続に異常があるときは以下の表示でお知らせします。

BUS-E02: CA-57ZXの使用時にディスクチェンジャーが3台以上接続されている。

BUS-E50: センターユニットが2台以上接続されている。

BUS-E11: DSPユニット (D909/X909/D707/X707) が2台以上接続されている。

BUS-W02: 接続されているCDチェンジャーのNo.スイッチが2台とも同じNo. (1または2) になっている。
 ⇨1台のCDチェンジャーのNo.スイッチを"1"に設定し、もう1台を"2"に設定すれば正常に使用できます。

BUS-W04: 接続されているMDチェンジャーのNo.スイッチが2台とも同じ番号 (1または2) に設定されている。
 ⇨1台のMDチェンジャーのNo.スイッチを"1"に設定し、もう1台を"2"に設定すれば正常に使用できます。

BUS-W08: 2台以上のTVモニターがBUSで接続されている。

- EJECT : ディスクチェンジャーにマガジンが入っていない、またはマガジンが完全に入っていない。
- NO DISC : ディスクチェンジャーのマガジンにディスクが1枚も入っていない。
- ERROR 04 : ・ディスクが異常に汚れている。
 ・ディスクが裏返しになっている。
 ・ディスクにキズが多く付いている。
 ・ディスクが入っていない。
 ・マガジンにトレイが入っていない。
 ⇨次のディスクを自動的に演奏します。
- BLANK : 演奏しようとしたMDチェンジャーのMDに何も録音されていない。
 ⇨次のMDを自動的に演奏します。
- NO TRACK : 演奏しようとしたMDチェンジャーのMDに何も記録されていない。
 ⇨次のMDを自動的に演奏します。
- READING : ディスクのデータを読み込んでいる。
 ⇨ディスクのデータを読み込みが終了すると通常に演奏できます。
- ERROR77 : 何らかの原因で正常に動作していない。
 ⇨本機のリセットボタンを押してください。それでも"ERROR 77"表示が消えない場合は、お近くのケンウッドサービス窓口へお問い合わせください。
- ERROR 99 : ・ディスクマガジンに異常がある。
 ・何らかの原因で正常に動作していない。
 ⇨ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。
 ディスクマガジンに異常がなければ、本機のリセットボタンを押してください。それでも"ERROR99"表示が消えない場合は、お近くのケンウッドサービス窓口へお問い合わせください。
- CD-ROM AREA : CD-ROMデータ領域を再生している。
 ⇨この表示中は音声が出ません。
- H HOLD : 本機および接続しているCDプレーヤー内部の温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
 ⇨取り付け場所の温度を下げれば、しばらくのちに表示は消えます。
- HOLD : ディスクチェンジャー内部の温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
 ⇨取り付け場所の温度を下げれば、しばらくのちに表示は消えます。
-  : MDプレーヤー部が正常に動作していない。
 ⇨MDを入れなおしてください。MDが取り出せない、またはMDを正しく入れなおしても点滅のままの場合は、電源をオフにしてお近くのケンウッドサービス窓口へお問い合わせください。
-  : CDプレーヤー部が正常に動作していない。
 ⇨CDを入れなおしてください。CDが取り出せない、またはCDを正しく入れなおしても点滅のままの場合は、電源をオフしてお近くのケンウッドサービス窓口へお問い合わせください。

取り付け時のご注意

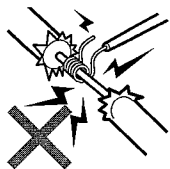
警告



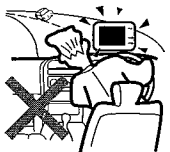
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



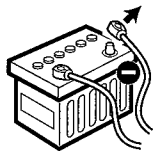
コードの被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



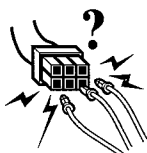
本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通り行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



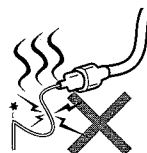
本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



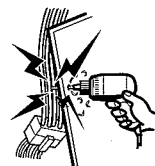
車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因となります。



本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因となります。



事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。


接続

! 初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

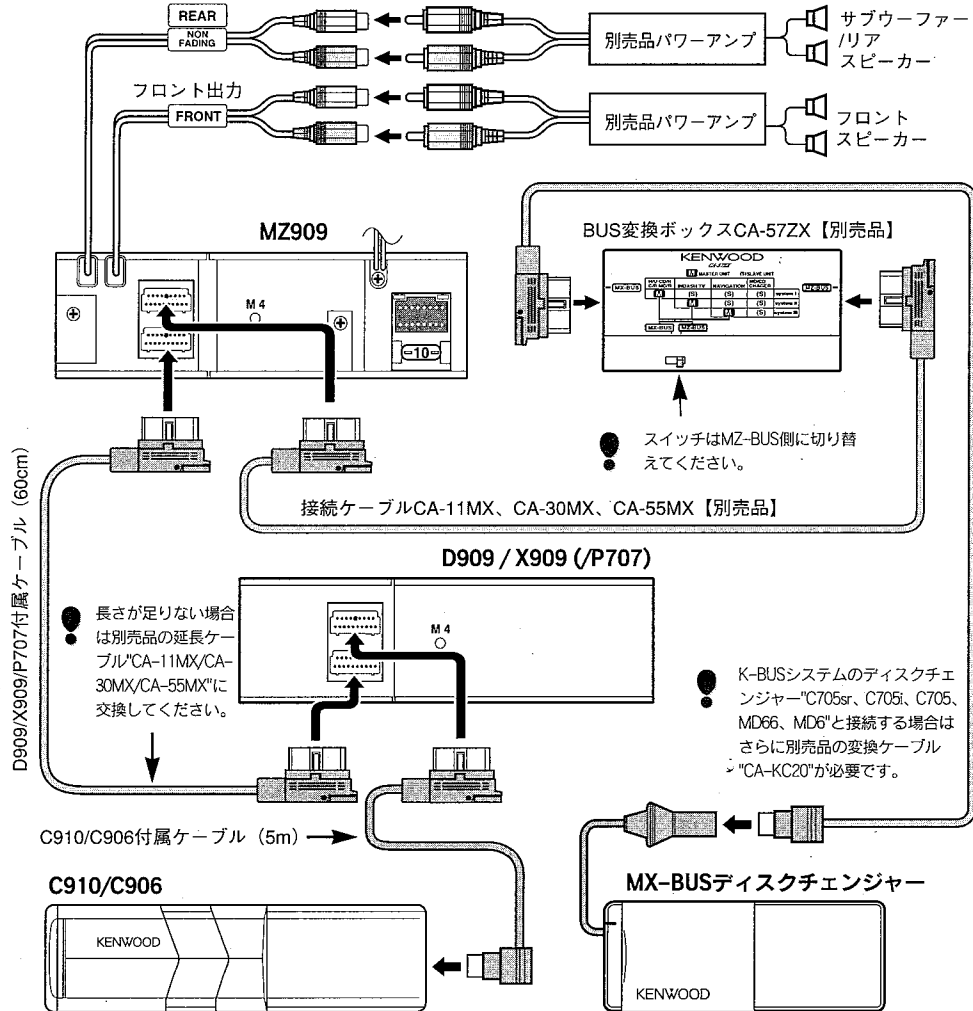
- 実施**
1. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
 2. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
 3. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
 4. 電源ハーネスのコネクターをMZ909に接続します。
 5. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
 6. 本機のリセットボタンを押します。

! **実施**

- 接続しないBUS端子は保護キャップを外さないでください。
- 本機から外した保護キャップは、接続しているユニットの使用していない端子に差し込んでください。



リアノンフェーディング出力

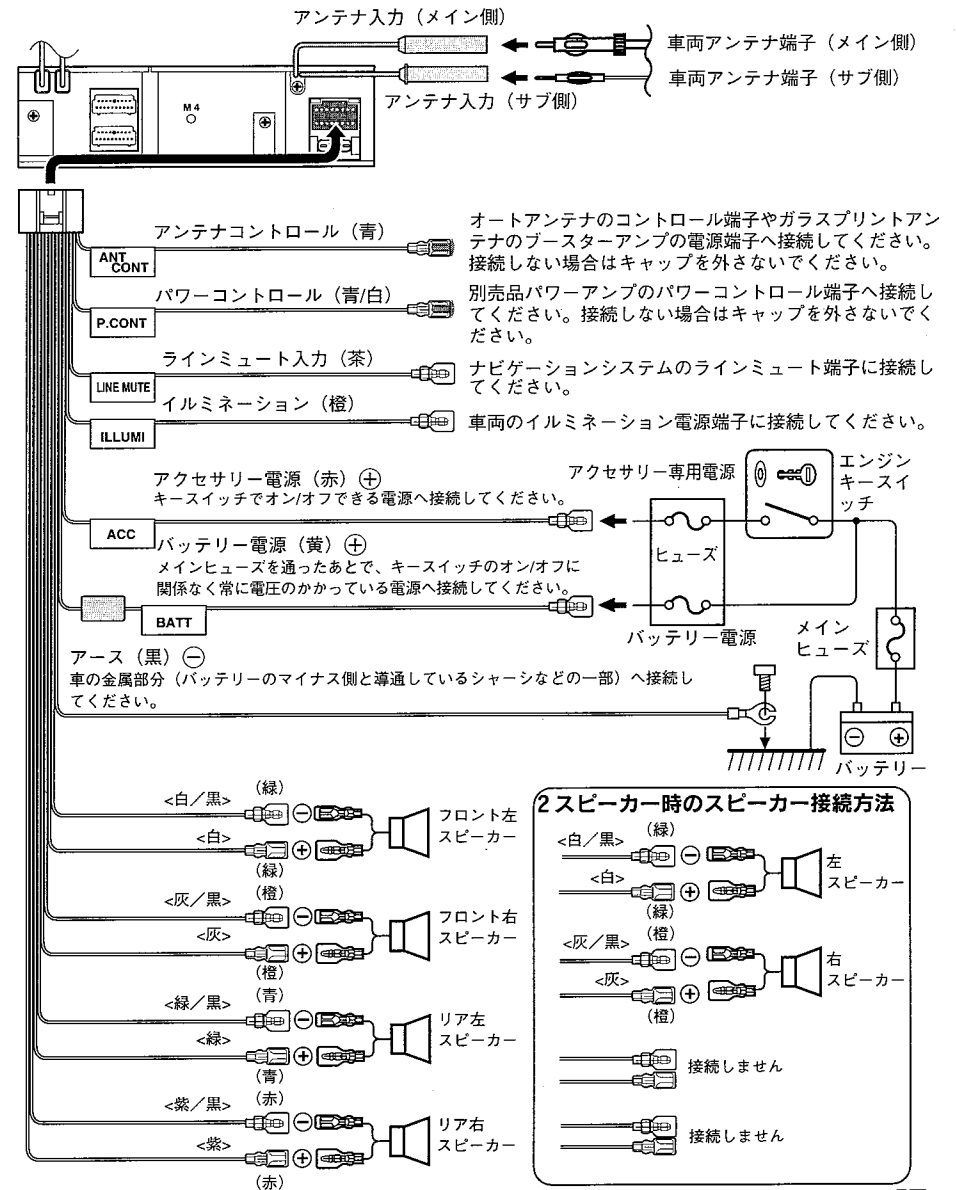


ダイバシティアンテナの接続のしかた

ダイバシティ対応車はサブアンテナ端子を接続できます。アンテナ端子の形状が異なる場合は別売品の変換コードが必要です。詳しくはカーオーディオカタログをご覧ください。

ダイバシティ未対応車へは

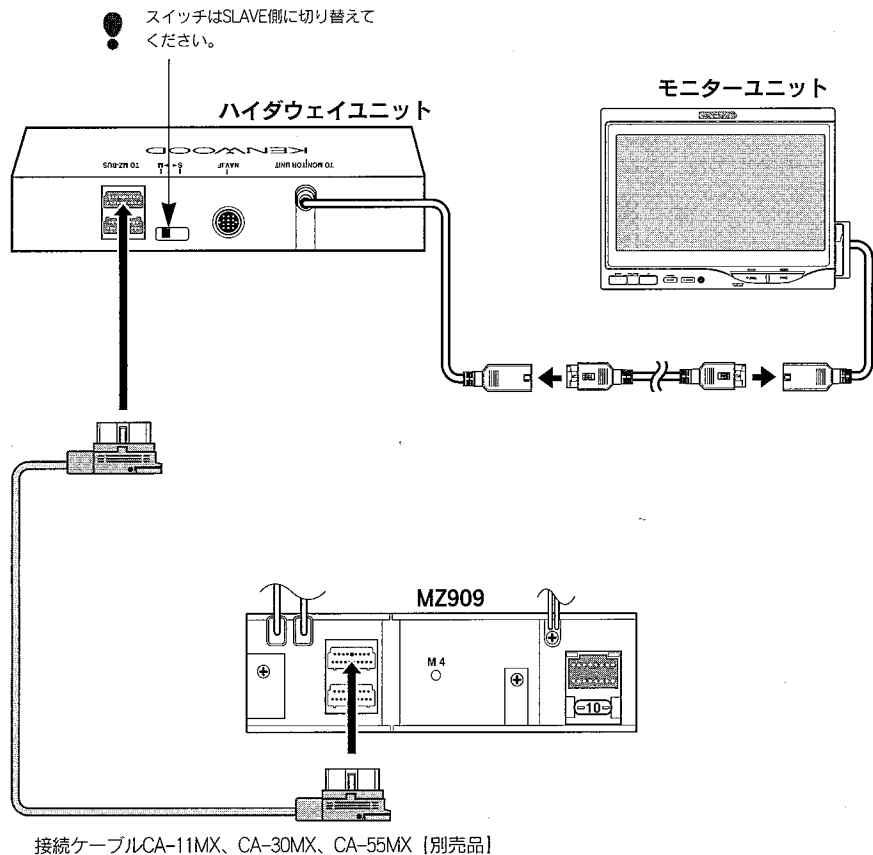
別売品の汎用ダイバシティ変換プラグ"CA-83U"と汎用のFMアンテナを追加すると、本機のダイバシティシステムを活用することができます。詳しくはカーオーディオカタログをご覧ください。



MX-BUSディスクチェンジャー付属ケーブル (5m)

接続

■LZ-M700/VZ907との接続



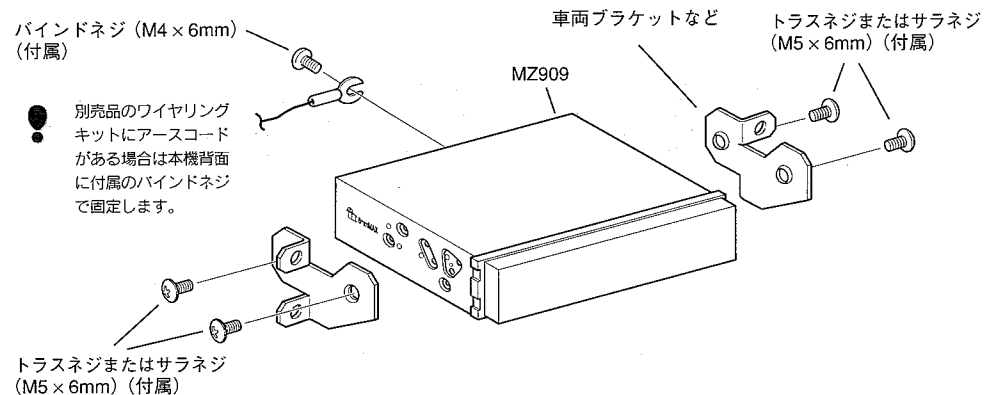
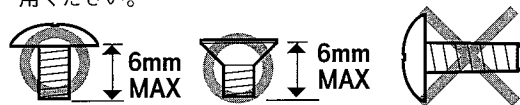
取り付け

付属のトラスネジまたはサラネジ (M5 × 6mm) 4本を使用して車両ブラケットなどに取り付けます。

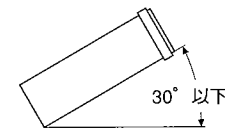


取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。

付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が車両ブラケットなどから外れることがあります。なお、取り付けネジはトラスネジとサラネジが付属しています。車両に合ったネジをご使用ください。



- 本機の取付角度は30° 以下になるように取り付けてください。30° 以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。
- 操作パネルを持って取り付け/取り外しをしないでください。破損することがあります。



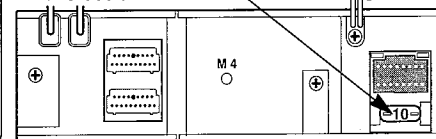
● 別売品のワイヤリングキットや取付キットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。詳しくはカタログをご覧ください。

ヒューズの交換



ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量 (アンペア数) の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。

セット背面



保証とアフターサービス

保証について

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

修理を依頼されるときは

「Trouble Shooting」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。(別紙「ケンウッドサービス網一覧表」をご参照ください。)

**修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されること
があります。あらかじめご了承ください。**

●保証期間中は....

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は....

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により**有料**にて修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。
(本機および一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープはあらかじめ取り出してください。)
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ(有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

- 技術料:故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代:修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲(周波数ステップ)
実用感度(S/N:30dB)
S/N 50dB感度
周波数特性(±3.0dB)
S/N比(dB)
選択度(±400kHz)
ステレオセパレーション

76.0 MHz~90.0 MHz (100 kHz)
9.3 dBf (0.8 μV/75 Ω)
15.2 dBf (1.6 μV/75 Ω)
30 Hz~15 kHz
75 dB (MONO)
80 dB以上
40 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲(周波数ステップ)
感度

522 kHz~1629 kHz (9 kHz)
28 dBμ

MDプレーヤー部

レーザー
デジタルフィルター
D/Aコンバーター
回転数
ワウ & フラッター
周波数特性
高周波歪率
S/N比(dB)
ダイナミックレンジ
ステレオセパレーション

GaAlAs(ダブルヘテロダイオード、
λ=780 nm)
8倍オーバーサンプリング
1 Bit
400~900 rpm(線速度一定)
測定限界以下
20 Hz~20 kHz(±1 dB)
0.01%(1 kHz)
93 dB(1 kHz)
90 dB
85 dB

CDプレーヤー部

レーザー
デジタルフィルター
D/Aコンバーター
回転数
ワウ & フラッター
周波数特性
高周波歪率
S/N比(dB)
ダイナミックレンジ
ステレオセパレーション

GaAlAs(ダブルヘテロダイオード、
λ=780 nm)
8倍オーバーサンプリング
1 Bit
500~200 rpm(線速度一定)
測定限界以下
10 Hz~20 kHz(±1 dB)
0.01%(1 kHz)
93 dB(1 kHz)
95 dB
85 dB

オーディオ部

最大出力
定格出力
プリアウトインピーダンス
トーン・コントロール(低音)
(高音)

44 W × 4
28 W × 4(4 Ω、1 kHz、10%THD)
600 Ω以下
100 Hz ±10 dB
10 kHz ±10 dB

電源部

電源電圧
最大消費電流

14.4 V(11~16 V)
10.0 A

寸法・質量

埋込寸法(W×H×D)
質量(重さ)

178 × 50 × 160 mm
1.7 kg

付属部品

電源ハーネス
トラスネジ(M5×6mm)
サラネジ(M5×6mm)
バインドネジ(M4×6mm)
リモコン

1本
4本
4本
1本
1個

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。